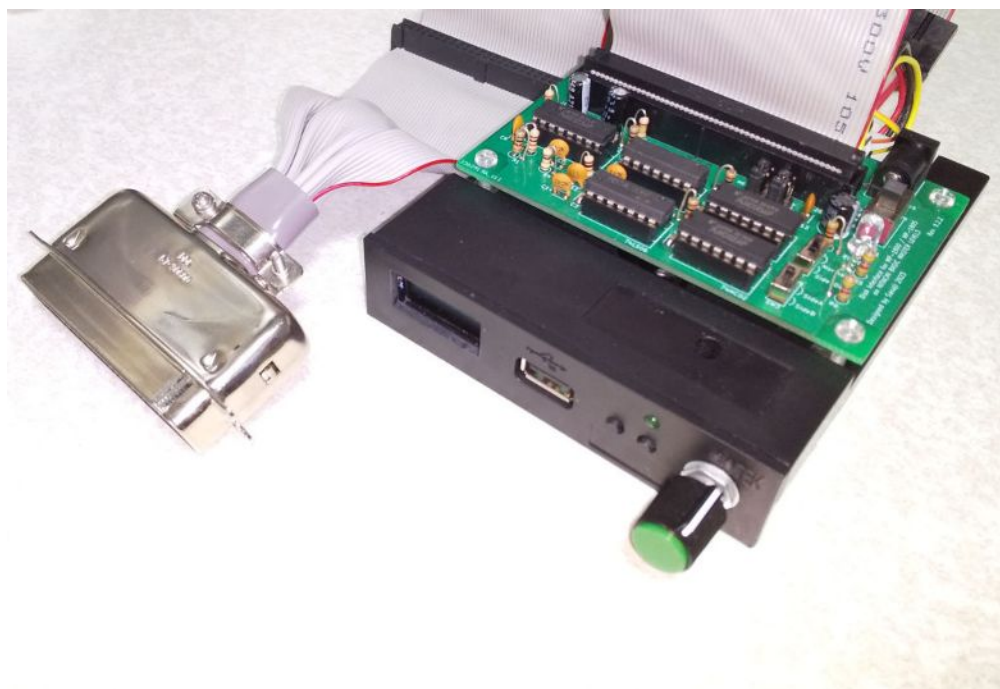
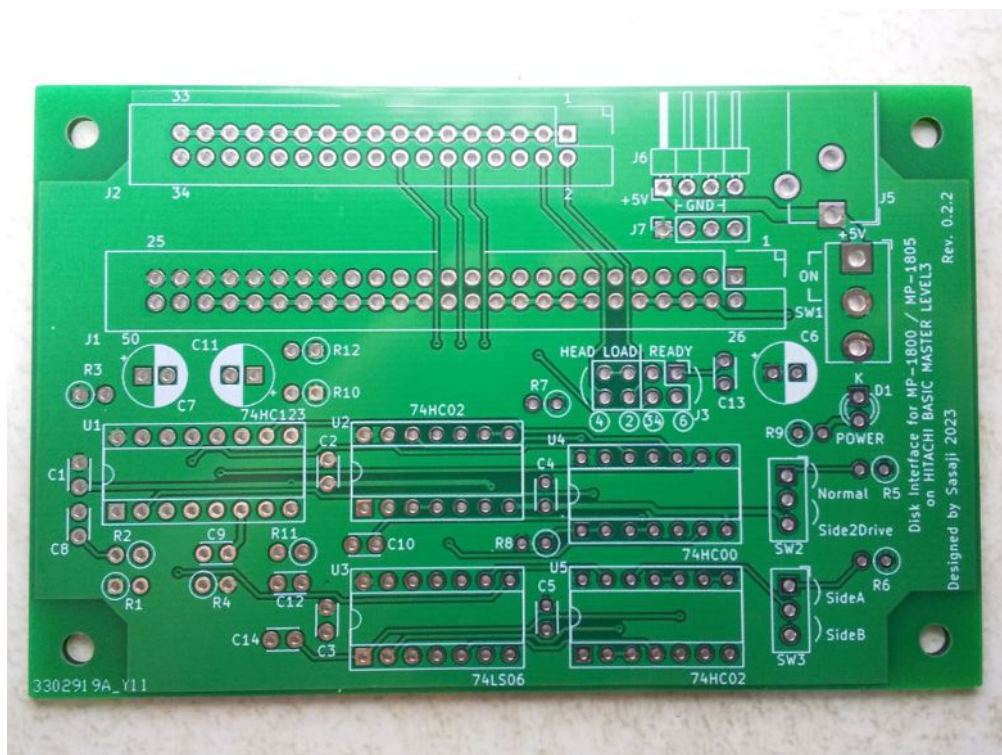


日立ベーシックマスターレベル3用

ディスクインターフェース for MP-1800 / MP-1805

Designed by Sasaji 2023 Rev. 0.2.2

フロッピーディスクドライブとFD インターフェース MP-1800 / MP-1805 の間に接続する拡張ボードです。
日立ベーシックマスターレベル3/マークII/マーク5で使用できます。



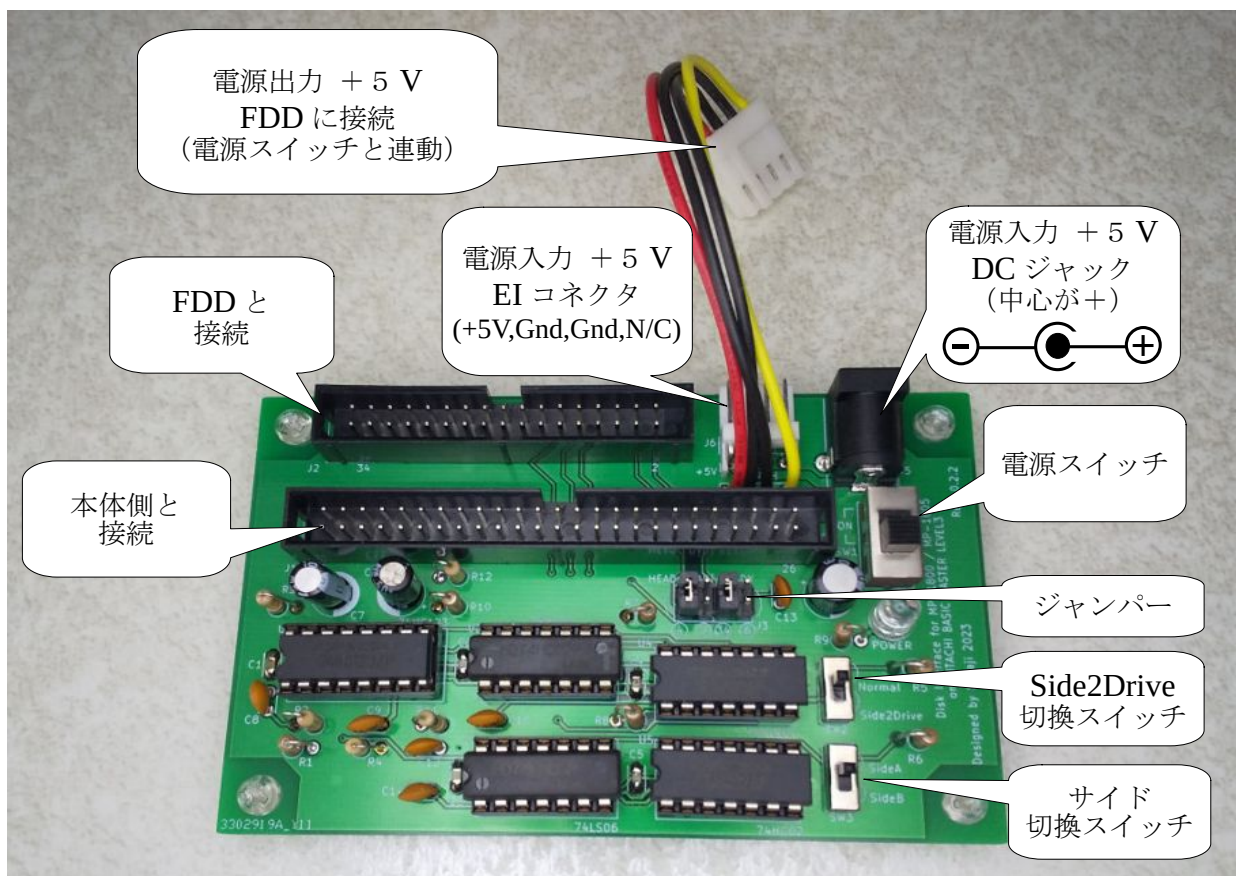
GOTEK を接続したところ

準備するもの

この基板を使用するには、以下のものを別途用意する必要があります。

- 本体側に FD インターフェースカード MP-1800 または MP-1805 があること。
- FDD はエミュレータ(GOTEK)または 2D のもの。
- 電源 : +5V, 1A 以上 (スイッチング AC アダプタ など)
- 本体側と接続するケーブル : 50 ピンアンフェノール ⇔ 50 ピン IDC コネクタ(2.54mm ピッチ x2 列)
- FDD 側と接続するケーブル : 34 ピン IDC コネクタケーブル(2.54mm ピッチ x2 列)

各部の役割



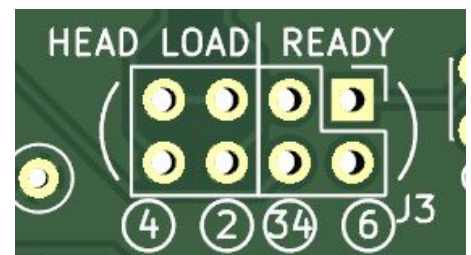
ジャンパピン

READY:

FDD からくる READY 信号がどのピンから来ているかを選択します。

ピン 34 または ピン 6

どちらかを縦方向にショートさせてください。



HEAD LOAD:

本体側からくる HEAD LOAD 信号をどのピンに送るか選択します。

ピン 4 または ピン 2

どちらかを縦方向にショートさせてください。

切 換 ス イ ッ チ

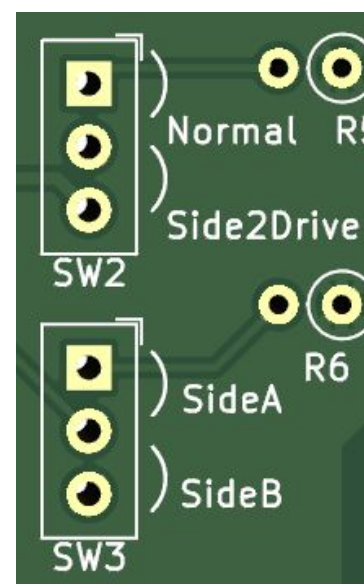
Side2Drive (SW2):

Side2Drive 側に入れると、表面(サイド 0)をドライブ 0 として裏面(サイド 1)をドライブ 1 として扱います。

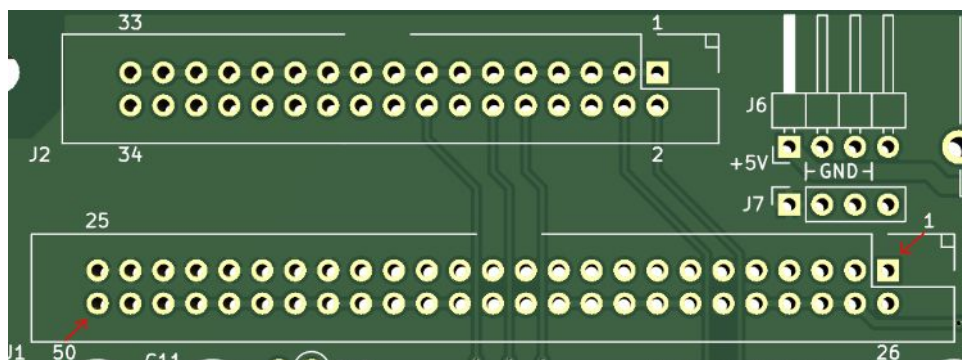
サイド切 換 (SW3):

表面(サイド 0)にアクセスする場合は SideA を、裏面(サイド 1)にアクセスする場合は SideB を選択します。

【注意】 Side2Drive を有効にしている場合、この設定は無視されます。



コネクタのピン配置



a) 50 ピンケーブル自作時の注意点

MP-1800 / MP-1805 側には、ピン 26 近くに出っ張りがあるため、ケーブル側はこの部分をまげて出っ張りに当たらないようにします。



使用上の注意

- 電源入力 J5(DC ジャック)と J6(EI コネクタ)はどちらか一方のみ接続してください。
- J6 のピン 4(+12V ライン)はどこにも接続していません。+12V が必要な FDD を使用する場合、電源コネクタはこの基板を経由せずに接続してください。
- この基板は試作品です。使用中に発生するノイズや経年劣化などに対しての考慮は全くしていませんので予めご了承ください。

免責事項

この基板によって発生したいかなる損害についても当方は一切責任を負いません。

この基板を使用するにあたってはすべて自己責任で行ってください。

Web ページ

この資料や基板データなどは [GitHub\(https://github.com/bml3mk5/MP1800Gotek\)](https://github.com/bml3mk5/MP1800Gotek) に置いています。

連絡先：

Sasaji (sasaji@s-sasaji.ddo.jp)
<http://s-sasaji.ddo.jp/bml3mk5/>
(Twitter: <https://twitter.com/bml3mk5>)

改訂履歴

初版: 新規作成。